

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年3月15日

【四半期会計期間】 第65期第1四半期(自平成24年11月1日至平成25年1月31日)

【会社名】 クミアイ化学工業株式会社

【英訳名】 KUMIAI CHEMICAL INDUSTRY Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 石原英助

【本店の所在の場所】 東京都台東区池之端一丁目4番26号

【電話番号】 03(3822)5036(代表)

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 吉村巧

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区池之端一丁目4番26号

【電話番号】 03(3822)5036(代表)

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 吉村巧

【縦覧に供する場所】  
クミアイ化学工業株式会社 札幌支店  
(北海道札幌市中央区北一条西四丁目2番地2)  
  
クミアイ化学工業株式会社 本社分室  
(静岡県静岡市清水区渋川100番地)  
  
クミアイ化学工業株式会社 名古屋支店  
(愛知県名古屋市中区錦二丁目15番22号)  
  
クミアイ化学工業株式会社 大阪支店  
(大阪府大阪市北区西天満一丁目2番5号)  
  
クミアイ化学工業株式会社 九州支店  
(福岡県福岡市博多区祇園町1番28号)  
  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(注) 上記の札幌支店及び九州支店は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜を考慮して、縦覧に供する場所としております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第1四半期 連結累計期間	第65期 第1四半期 連結累計期間	第64期
会計期間	自平成23年11月1日 至平成24年1月31日	自平成24年11月1日 至平成25年1月31日	自平成23年11月1日 至平成24年10月31日
売上高 (百万円)	8,263	9,551	44,072
経常利益 (百万円)	546	672	2,810
四半期(当期)純利益 (百万円)	370	578	2,137
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	457	2,329	2,520
純資産額 (百万円)	41,247	45,128	43,315
総資産額 (百万円)	54,913	62,213	58,576
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4.65	7.27	26.90
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	70.66	68.25	69.69

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

売買契約(契約会社；クミアイ化学工業株式会社)

契約締結先	契約内容	契約締結年月日	有効期間
全国農業協同組合連合会	売買基本契約に基づく平成25年度農薬の売買に関する契約	平成24年12月14日	平成24年12月1日から平成25年11月30日まで

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策への期待の高まりや円安の進行などを背景に、鉱工業生産が下げ止まりつつあるなど、持ち直しの兆しが見られております。

このような情勢のもと、当グループは、国内・国外とも自社開発品など重点品目を中心に、マーケティング戦略の実践を図るとともに、積極的な販売活動を行いました。

当グループの第1四半期連結累計期間における売上高は95億5千1百万円、前年同期比12億8千9百万円(15.6%)の増となりました。損益面につきましては、売上高が増加したことにより、営業利益は2億5千3百万円、前年同期比1千4百万円(5.7%)の増、経常利益は6億7千2百万円、前年同期比1億2千6百万円(23.0%)の増、四半期純利益は5億7千8百万円、前年同期比2億7百万円(56.0%)の増となりました。

セグメントの概況につきましては以下のとおりです。

#### 化学品セグメント

国内部門の農耕地分野では、水稲用除草剤市場でのシェアアップを図るべく「ピリミスルファン剤」「トップガン剤」「ウルフ剤」の販売促進に注力するとともに、水稲用箱処理剤「イソチアニル剤」の最大化に向けた取組みを進め、園芸分野では「ピリベンカルブ剤」が原体販売も含めて伸長したことなどから、前年同期を上回りました。

国外部門におきましては、「ピロキサスルホン剤」の販売が伸長したことに加え、為替レートがドルやユーロに対し円安傾向に推移したことなどから、前年同期を上回りました。

上記の結果、化学品セグメントの売上高は85億8千5百万円、前年同期比12億6千7百万円(17.3%)の増、営業利益は2億9千9百万円、前年同期比2千9百万円(10.8%)の増となりました。

## 賃貸セグメント

賃貸セグメントの売上高は、前連結会計年度末に静岡県磐田市の賃貸物件が解約となったことなどから、5千4百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は1億円)、前年同期比2千万円(26.9%)の減、営業利益は6千3百万円、前年同期比1千万円(13.3%)の減となりました。

## その他

流通事業、印刷事業、情報サービス事業及び環境中の化学物質等計量事業などで構成されるその他は、流通事業の新規顧客開拓や既存顧客拡大により売上高は9億1千2百万円、前年同期比4千1百万円(4.7%)の増、損益面では、売上原価が増加したこと等により営業利益は2千7百万円、前年同期比2千9百万円(51.6%)の減となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は622億1千3百万円で、前連結会計年度末に比べ36億3千7百万円の増となりました。これは主に受取手形及び売掛金並びに投資有価証券の増加が現金及び預金の減少を上回ったことによるものです。

負債は170億8千4百万円で、前連結会計年度末に比べ18億2千3百万円の増となりました。これは主に支払手形及び買掛金並びに短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は451億2千8百万円、自己資本比率は68.25%、1株当たり純資産額は534円63銭となりました。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当グループが支出した研究開発費の総額は4億3千6百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年1月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年3月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	86,977,709	86,977,709	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数 1,000株
計	86,977,709	86,977,709	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年11月1日 ～ 平成25年1月31日		86,977,709		4,534		4,832

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、平成24年10月31日現在の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成24年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,229,000	-	権利関係に何ら限定のない当社における標準となる株式
	(相互保有株式) 普通株式 1,184,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 78,037,000	78,037	同上
単元未満株式	普通株式 527,709	-	同上
発行済株式総数	86,977,709	-	-
総株主の議決権	-	78,037	-

(注) 「単元未満株式」には、相互保有株式819株(イハラ建成工業株819株)及び当社所有の自己株式173株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) クマイ化学工業株式会社	東京都台東区池之端一丁目4番26号	7,229,000	-	7,229,000	8.31
(相互保有株式) イハラ建成工業株式会社	静岡県静岡市清水区長崎69番地の1	1,076,000	-	1,076,000	1.23
株式会社理研グリーン	東京都台東区東上野四丁目8番1号	108,000	-	108,000	0.12
計	-	8,413,000	-	8,413,000	9.66

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権1個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の中に含まれております。

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年11月1日から平成25年1月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年11月1日から平成25年1月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、芙蓉監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,639	3,710
受取手形及び売掛金	9,395	12,083
有価証券	35	35
商品及び製品	8,040	10,932
仕掛品	3,018	2,517
原材料及び貯蔵品	1,166	1,349
繰延税金資産	659	656
その他	392	316
貸倒引当金	3	3
流動資産合計	30,343	31,596
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	3,680	3,938
機械装置及び運搬具（純額）	808	781
土地	6,281	6,287
建設仮勘定	200	-
その他（純額）	564	542
有形固定資産合計	11,532	11,548
<b>無形固定資産</b>		
無形固定資産	291	280
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	15,603	17,943
繰延税金資産	141	116
その他	666	729
投資その他の資産合計	16,410	18,788
固定資産合計	28,234	30,616
資産合計	58,576	62,213



	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,452	9,982
短期借入金	6	1,503
未払金	1,715	878
未払法人税等	563	210
賞与引当金	523	212
その他	418	325
流動負債合計	11,677	13,110
固定負債		
繰延税金負債	1,054	1,566
退職給付引当金	1,753	1,712
役員退職慰労引当金	367	324
その他	410	373
固定負債合計	3,584	3,975
負債合計	15,261	17,084
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	4,843	4,843
利益剰余金	31,735	31,834
自己株式	1,553	1,554
株主資本合計	39,560	39,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,218	3,107
為替換算調整勘定	954	303
その他の包括利益累計額合計	1,265	2,804
少数株主持分	2,491	2,667
純資産合計	43,315	45,128
負債純資産合計	58,576	62,213

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)
売上高	8,263	9,551
売上原価	6,140	7,414
売上総利益	2,123	2,137
販売費及び一般管理費	1,884	1,885
営業利益	239	253
営業外収益		
受取利息	33	25
受取配当金	58	58
持分法による投資利益	234	267
為替差益	-	60
その他	38	22
営業外収益合計	364	431
営業外費用		
支払利息	0	1
売上割引	5	7
為替差損	40	-
その他	11	4
営業外費用合計	57	12
経常利益	546	672
特別利益		
投資有価証券売却益	-	125
企業結合における交換利益	-	80
特別利益合計	-	205
特別損失		
固定資産処分損	3	3
特別損失合計	3	3
税金等調整前四半期純利益	543	875
法人税等	144	279
少数株主損益調整前四半期純利益	399	596
少数株主利益	29	18
四半期純利益	370	578

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	399	596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	202	944
為替換算調整勘定	280	281
持分法適用会社に対する持分相当額	136	508
その他の包括利益合計	58	1,733
四半期包括利益	457	2,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	550	2,221
少数株主に係る四半期包括利益	93	108

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日至平成25年1月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日至平成25年1月31日)
税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産にかかる償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)
減価償却費	174百万円	183百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年1月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年1月27日 定時株主総会決議	普通株式	404	5	平成23年10月31日	平成24年1月30日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年1月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年1月30日 定時株主総会決議	普通株式	478	6	平成24年10月31日	平成25年1月31日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	7,317	74	7,392	871	8,263	-	8,263
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	40	40	330	370	370	-
計	7,317	115	7,432	1,201	8,633	370	8,263
セグメント利益	270	73	343	56	399	160	239

(注)1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業などを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 160百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	化学品 (百万円)	賃貸 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	8,585	54	8,639	912	9,551	-	9,551
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	46	46	360	406	406	-
計	8,585	100	8,685	1,272	9,957	406	9,551
セグメント利益	299	63	362	27	390	137	253

(注)1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業などを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 137百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)
1株当たり四半期純利益金額	4円65銭	7円27銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	370	578
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	370	578
普通株式の期中平均株式数(千株)	79,698	79,423

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(重要な設備投資)

当社は、平成25年3月7日開催の取締役会において、太陽光発電施設を建設することについて決議いたしました。

1. 目的

当社は、静岡県磐田市にある自社遊休地に太陽光発電施設を建設し、再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用して、全量を中部電力株式会社に売電する発電事業の開始を目指します。

本事業の開始により、保有資産の有効活用を図るとともに、豊かな自然環境を未来の世代に残すため、「再生可能エネルギー」の普及促進に努め、環境負荷低減を図ることで社会に貢献していきたいと考えております。

2. 発電所概要

発電場所：静岡県磐田市（福田工業団地内）

設置面積：約36,000㎡

発電出力：約1,990kW

運転開始：平成25年9月（予定）

買取価格：42円/kWh

予想発電量：230万kWh/年（二酸化炭素削減量 約730t/年）

初期投資額：約6億4千万円

(重要な自己株式の処分)

当社は、平成25年3月7日開催の取締役会において、下記の通り第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議いたしました。

1. 自己株式の処分の理由

当社は日本曹達株式会社に農薬を供給し、かつ、同社から農薬を購入して販売しております。今後、同社との関係を強化し、当社の農薬売上を拡大するために同社に対し第三者割当により自己株式を譲渡することといたしました。

2. 自己株式の処分の概要

- (1) 処分株式 普通株式
- (2) 処分方法 第三者割当による
- (3) 処分株式数 576,000株
- (4) 処分価格 1株当たり520円
- (5) 処分価格総額 299,520,000円
- (6) 処分期日 平成25年3月25日
- (7) 処分先の名称等 日本曹達株式会社

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年3月7日

クミアイ化学工業株式会社  
取締役会 御中

芙蓉監査法人

指定社員 公認会計士 大塚 高德 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 畔村 勇次 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクミアイ化学工業株式会社の平成24年11月1日から平成25年10月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年11月1日から平成25年1月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年11月1日から平成25年1月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クミアイ化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年1月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。